

第 32 期  
事業報告書

自 平成30年4月1日 至 平成31年3月31日

株式会社 秩父開発機構

## 第 32 期 事 業 報 告 書

自 平成30年4月 1日

至 平成31年3月31日

当社は平成31年3月31日をもって第32期事業年度を終了いたしましたので、事業の概況並びに決算等につきまして、ご報告申し上げます。

### 1 事業の概況

#### (1) 事業の経過及び成果並びに対処すべき課題

当期は事業32年目を迎え株主の皆様をはじめ関係各位のご支援を賜る中、埼玉県から新たに5年間の指定管理者として選定された「秩父ミュージックパーク」と「埼玉県長瀬射撃場」の指定管理業務を事業の柱に据え、秩父地域の振興に寄与するため各種事業展開を進めてまいりました。

秩父ミュージックパークにおいては適切な園地及び施設の維持管理を行うとともに、イチヨウ並木の「黄葉」に続く鮮やかなモミジの「紅葉」による、新たな観光スポット創出計画の初年度として、園内に既存するモミジ周辺的环境整備や移植並びに植栽をスタートさせました。

また、外国人利用者増加に伴い翻訳機能搭載のタブレット端末の活用をはじめとし、多様化する利用者ニーズに対応するための取り組みや、地域に密着した公園づくりを目指すため、ボランティア団体や市民との協働活動も多く実施しました。

自主事業としては、ホームページとSNSの活用、イメージポスターの作製配布、テレビ・新聞等への情報提供を行うなど、知名度アップのため幅広く公園をPRするとともに、デビュー50周年を迎えた「森山良子」を招いてのコンサートや、ホテル観賞会をはじめとする、公園の自然を活かした「インストラクター事業」などに加え、メディアでも多く取り上げられている「雲海」の写真展、新たに実施した「黄紅葉祭（こうようさい）」などの各種イベント事業を通じ、公園活性化に向けた集客策に努めました。

軽食堂「ピエリア」では、通常営業の他に、大規模イベント時の臨時売店や、昨年に引き続き「秩父夜祭」における機敷席への出店などを実施し、利用者ニーズの対応と売上増加に努めました。

更に、恒例となっている「ハーレー秩父ミーティング」、人気アイドルグループ「私立恵比寿中学」の野外コンサート、園内を使用したロードレース大会などの大規模イベントを誘致し、施設の利用率向上と地域の活性化に寄与いたしました。

このような事業展開において、公園の利用者満足度は84.7%（利用者アンケートによる）となり、経営目標の80%以上を達成することができました。

長瀬射撃場においては、無事故運営を経営目標に掲げ、射撃場に携わる人々の安全と危機管理意識の向上を図るため注意喚起の徹底を図り、安心して利用できる施設とするための場内整備と施設管理に努めました。

利用実績については、日本ライフル射撃協会、日本学生ライフル射撃連盟、埼玉県や東京都など関東各県のライフル射撃協会等が主催するスポーツ射撃大会と、埼玉県猟友会など、地域の猟友会が主催する狩猟者の安全意識と技術向上のための大会に加え、学生射撃部の合宿誘致に努め、利用者数は昨年を2,854人上回る15,219人となりました。

また、スポーツ庁から受託したナショナルトレーニングセンター競技別強化拠点施設活用事業では、マネジメントスタッフを配置し、国際大会において活躍が期待されるトップアスリートの技術向上のためのサポート事業を行いました。

自主事業としては、埼玉県・群馬県・栃木県の各公安委員会からの受託による技能講習や競技者拡大に向けた、ビームライフル・エアライフルの初心者講習会、昨年度から

実施している銃の保管業などに取り組んでおります。

このように、設置目的である「射撃技能の向上と銃による事故の防止及び射撃競技の発展」の実現のため、事業を展開したものであります。

観光振興事業におきましては、テレビ埼玉「マチコミ ちちぶだより」情報番組連絡協議会の事務局として番組制作への協力や、秩父観光協会をはじめとする観光関係機関と連携を図り、観光キャンペーン等に積極的に参加するなど、秩父地域への観光客の誘致にも努めてまいりました。

第3 2期の主な事業は次のとおりです。

1 秩父ミュージックパークの指定管理業務の受託

① 公園施設の維持管理業務

- ・ 除草、芝生、植栽、高木・低木、林地、花壇、菖蒲田等の園地管理
- ・ 音楽堂・野外ステージ等の施設維持管理業務
- ・ 音楽堂・野外ステージの舞台照明音響業務
- ・ 園内清掃、警備業務、除雪作業 など全 23 項目

② モミジによる新たな観光スポット創出計画事業

- ・ 既存するモミジの周辺環境整備（伐採等）
- ・ モミジの植栽、移植、移植準備（根回し）
- ・ 先進地視察（愛知県豊田市足助町 香嵐渓）
- ・ 黄紅葉祭（こうようさい）10/20-11/25 の実施

③ 利用者サービス

- ・ 秩父ミュージックパーク便利帳の活用
- ・ ユニバーサルサービスとしてコミュニケーションボードの活用
- ・ 翻訳機能搭載のタブレット端末の活用

④ 市民活動の機会の充実（地域の団体との協働作業）

- ・ カタクリの植え付け作業などの環境保全活動（公園インストラクターとの協働）
- ・ チューリップ1万本プロジェクト（地元幼稚園児による球根植え付け）
- ・ ヘメロカリス植栽地の除草作業（地元専門学校生による除草作業）

⑤ 公園PR活動（情報発信）

- ・ オリジナルホームページとSNSの活用  
ホームページ閲覧数年間約 90 万件  
facebook フォロワー数 2,109 人、いいね 2,070 人（令和元年 4 月末）
- ・ パンフレット、ポスター、チラシ作製配布  
ミュージックパークだより 58,000 部発行  
「梅まつり」「黄紅葉祭」各ポスター450 枚、チラシ 8,500 枚作成配布
- ・ 教育機関等と連携した広報活動（インストラクター事業パンフレット）
- ・ 秩父ミュージックパーク連絡会議の運営による公園内関係団体との情報の共有
- ・ テレビ、雑誌、新聞などメディアを通じたPR  
草花開花状況、イチョウ並木の黄葉、雲海、イベント情報など提供  
インターネット情報掲載 25 件、新聞記事掲載 18 件、テレビ番組の取材・放映 11 件、雑誌掲載 11 件などで紹介される
- ・ テレビ番組・映画撮影など  
「仮面ライダージオウ」、「新春芸能人対抗駅伝」ほか 多数

⑥ 自主事業

- ・ コンサート等の実施  
吹奏楽フェスティバル（音楽堂）11/11 600 人  
秩父ミュージックパークコンサート 森山良子（音楽堂）11/25 600 人

- コーラスフェスティバル（音楽堂）2/24 400人
- ミュージックコンサート2018（野外ステージ）8/5 400人
- 第2回秩父フラフェスティバル（野外ステージ）9/2 400人
- ・園地イベント
  - 黄紅葉祭 10/20-11/25 403,105人（期間中の来園者）
  - 梅まつり 3/10 3,500人
  - サッカー少年団駅伝大会 12/16 500人
- ・インストラクター事業
  - ホテル観賞の夕べ 6/30 580人
  - 夏の星座観察会 8/11 120人
  - きのご観察会 9/23 100人
  - ノルディックウォーキング 10/28 25人 など年間16事業を実施
- ・写真展（多目的ハウス）
  - 煌めきの合図（ホテル写真展）4/8-5/13 2,300人
  - 梅園写真展 5/18-6/17 1,032人
  - 原谷公民館写真展 7/10-8/20 1,104人
  - 雲海写真展 10/20-11/25 9,605人
- ⑦ 軽食堂「ピエリア」の営業
  - ・ラーメン、カレー、うどん、そば、等の販売、「手ぶらでバーベキュー」営業
  - ・大規模イベント時の園内臨時売店出店
  - ・秩父夜祭棧敷席出店
- ⑧ 大規模イベント誘致
  - ・コンサート・イベント
    - ハーレーダビッドソン秩父ミーティング 4/14-15 1,400人
    - 私立恵比寿中学コンサート（野外ステージ）9/22 4,000人
    - 秩父はんじょう博 10/20-21 56,000人 ほか
  - ・スポーツ・イベント
    - 第60回秩父宮記念ミュージズの森チャレンジロードレース大会 6/10 2,500人
    - 埼玉県駅伝大会予選会兼秩父郡市中学校駅伝競走大会 10/24 350人 ほか

## 2 埼玉県長瀬射撃場の指定管理業務の受託

- ① 施設等の利用に関する業務
  - 利用者の受付、予約、利用案内等
- ② 施設、設備、物品の維持管理に関する業務
  - 標的交換機の整備点検、設備維持管理、場内清掃、除草・植栽管理など21項目
- ③ 大会・合宿等の誘致
  - ・射撃大会
    - 東日本学生スポーツ射撃選手権大会 5/10-13 458人
    - 関東学生スポーツ射撃選手権春季大会 6/7-10 487人
    - JOCジュニアオリンピックカップ 9/6-9 289人
    - 関東学生スポーツ射撃選手権秋季大会 9/13-16 501人
    - 全日本学生スポーツ射撃選手権大会 10/17-21 851人
    - 全日本ライフル射撃選手権大会（50m/10m）10/26-28 408人 など50大会以上
  - ・強化指定選手の練習
    - 合宿計画 235日 延べ1,428人
  - ・学生合宿利用状況
    - 大学射撃部12校、高校射撃部3校 延べ1,301人
- ④ スポーツ庁ナショナルトレーニングセンター競技別強化拠点施設活用事業の受託
  - ・マネジメントスタッフ配置による、強化選手の銃と弾のマッチングテスト及び

- 射撃姿勢の映像分析など技術向上のサポート
- ・全日本選手権、ナショナルチーム選考会などの大会準備、運営サポート
- ・JOC が開催する競技別強化拠点ミーティング等の参加 など

⑤ 主な自主事業

- ・教習射撃及び技能講習の実施  
教習射撃 27 名、技能講習 148 名
- ・銃保管業の実施
- ・ビーム・エア・小口径ライフル初心者講習会  
ビームライフル講習会 18 回 53 人  
エアライフル初心者講習会 18 回 69 人  
小口径ライフル初心者講習会 7 回 38 人
- ・合宿記録対抗戦 参加校 12 校
- ・安全狩猟射撃大会等の自主大会の開催  
埼玉県猟友会員を対象 7/1 59 人  
秩父猟友会員を対象 7/29 39 人
- ・装弾及び標的の販売
- ・長瀬周辺マップ作成、配布
- ・オリジナル T シャツ・キーホルダーの販売 など

3 観光振興事業

- ① テレビ埼玉「マチコミ ちちぶだより」情報番組連絡協議会の事務局業務
  - ・秩父地域市町及びスポンサーとの連絡調整（年 8 回放映）
  - ・番組連絡協議会の開催 など
- ② 観光キャンペーンへの参加
  - ・秩父観光協会 秋の観光キャンペーン（大宮駅） 9/19
  - ・秩父観光協会 春の観光キャンペーン（所沢駅） 3/27
- ③ 秩父地域の振興を目的とする団体の構成員としての活動
  - ・（一社）秩父観光協会
  - ・彩の国秩父地域観光協議会
  - ・秩父市芝桜まつり実行委員会 など 9 の団体の活動に参画

4 その他の事業

- ・秩父ミュージックパーク旧パー 3 ゴルフコース管理業務
- ・埼玉県長瀬射撃場環境保全業務 等

収入面では、秩父ミュージックパークにおいてイベント等の実施・誘致などにより自主事業収入が増加したことと、長瀬射撃場においては一般と学生の全日本規模の大会が開催できたことが利用者の増加に繋がり、売上高合計は前期比 2 4 3 万円増加し、2 億 1 千 8 3 5 万円となりました。支出面では射撃場において利用者増加に伴う競技用消耗品などの経費の増加はありましたが、全社的に広告類のデザインや軽微な修繕等は職員が行うなど、外注費などの抑制にも努めた結果、当期純利益は 3 8 8 万円余を計上し、利益剰余金は 1 千 4 9 3 万円となりました。

剰余金の活用については、新たに将来を見据えてスタートさせたモミジによる観光スポット創出事業を、従来の公園管理業務の質を落とすことなく推進していく必要があることと、長瀬射撃場において全国レベルの大会の有無により大きく年度収支が変動するなどの不安定要素もあるため、留保とさせていただきます。

また、今後の課題としては、モミジによる観光スポット創出事業を計画的かつ着実に進め、集客策を図る中で、施設の利用率と収益の増加に繋げていくことが挙げられます。

◇ 秩父ミュージズパーク



音楽堂前に移植したモミジ “シンボルツリー”



黄紅葉祭 ポスター



森山良子コンサート



ハーレー秩父ミーティング



雲海写真展 ポスター



秩父はんじょう博

◇ 埼玉県長瀬射撃場



関東学生スポーツ射撃春季大会



全日本ライフル射撃選手権



合宿練習風景



猟友会 安全射撃大会



技能講習



NTC事業 銃と弾のマッチング分析

(2) 事業成績及び財産状況の推移

期別 区分	第29期	第30期	第31期	第32期
売上高(千円)	228,448	226,587	215,911	218,350
営業利益(千円)	11,221	7,723	4,454	5,834
経常利益(千円)	11,647	7,997	5,071	6,378
当期純利益(千円)	7,349	5,179	1,198	3,880
1株当たり当期純利益(円)	765.55	539.53	124.89	404.18
総資産(千円)	656,460	663,844	665,884	679,018
純資産(千円)	484,678	489,857	491,056	494,936
1株当たり純資産(円)	50,487.32	51,026.86	51,151.76	51,555.94

## 2 会社の概況

当期末(平成31年3月31日)の会社の概況は、次のとおりであります。

### (1) 主な事業内容

- ア 秩父ミュージックパークの指定管理業務の受託  
(自主事業：軽食堂及び売店事業、各種イベントの実施他)
- イ 埼玉県長瀬射撃場指定管理業務の受託  
(自主事業：標的・装弾販売、教習射撃及び技能講習の実施他)
- ウ 埼玉県長瀬射撃場スポーツ庁ナショナルトレーニングセンター競技別強化拠点施設活用事業の受託
- エ ちちぶ観光情報番組の実施

### (2) 株式の状況

当期末における株式の状況は次のとおりであります。

- ア 発行可能株式の総数 34,400株
- イ 発行済株式の総数 9,600株
- ウ 当期末株主総数 108名

### (3) 主な大株主

株主名	所有株式数	持株比率
埼玉県	2,460株	25.6%
西武鉄道(株)	960	10.0
秩父市	458	4.8
(株)埼玉りそな銀行	420	4.4
太平洋セメント(株)	400	4.2
西武建設(株)	300	3.1
(株)本郷会計	240	2.5
あいおいニッセイ同和損害保険(株)	220	2.3
秩父鉄道(株)	200	2.1
(株)武蔵野銀行	200	2.1
小鹿野町	170	1.8
損害保険ジャパン日本興亜(株)	160	1.7

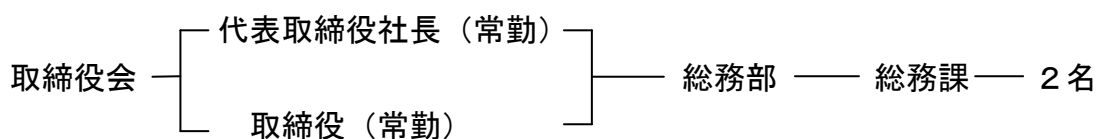
他に、日本瓦斯(株)ほか95社が株主であります。



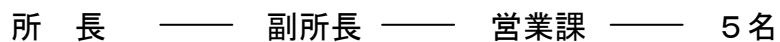
(4) 組織と従業員の状況

平成31年3月31日現在

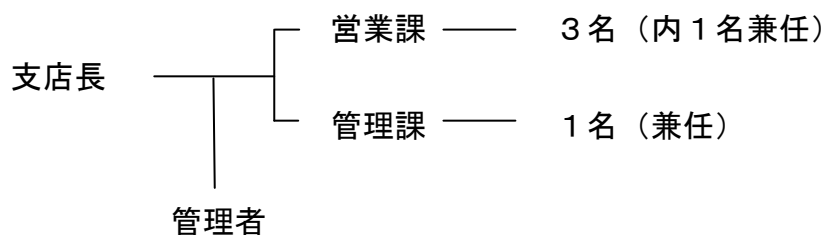
[本店]



[秩父ミュージックパーク管理事務所]



[長瀬射撃場支店]



従業員

区分	従業員数	前年比増減	平均年齢
男	6名	—	51.8
女	5名	—	42.4
計	11名	—	47.5

(5) 取締役及び監査役

平成31年3月31日現在

役職名	氏名	派遣団体等
代表取締役社長（常勤）	山口 民弥	元大滝村長・秩父市収入役
取締役（常勤）	田代 勝三	元秩父市副市長
取締役（非常勤）	久喜 邦康	秩父市長
取締役（非常勤）	大谷 隆男	秩父鉄道(株)代表取締役社長
取締役（非常勤）	西村 耕一	秩父商工会議所会頭
取締役（非常勤）	笠原 勝	秩父太平洋セメント(株)代表取締役社長
取締役（非常勤）	森 真太郎	小鹿野町長
取締役（非常勤）	坂本 泰孝	埼玉県秩父地域振興センター所長
取締役（非常勤）	藤井 拓巳	西武レクリエーション(株)代表取締役社長
取締役（非常勤）	三島 吉晴	(株)埼玉りそな銀行秩父支店長
監査役（非常勤）	上木 雄二	埼玉県会計管理者
監査役（非常勤）	武島 健	(株)武蔵野銀行秩父支店長

下記の方から辞任する旨の届出があり、これに伴い登記を完了いたしました。

平成31年3月31日辞任届提出

取締役（非常勤） 山崎 明弘 氏

# 貸借対照表

平成31年3月31日現在

単位：千円

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
[流動資産]		[流動負債]	
現金及び預金	525,254	買掛金	122,597
売掛金	127,649	未払費用	10,387
未収入金	2,432	預り金	221
棚卸資産	3,246	仮受金等	751
前払費用等	123	賞与引当金	3,602
繰延税金資産	18,799	未払法人税等	1,799
貸倒引当金	△3	未払事業税等	1,719
		未払消費税	1,600
(流動資産合計)	(677,502)	(流動負債合計)	(142,680)
[有形固定資産]		[固定負債]	
建物付属設備	629	退職給付引当金	41,400
車両運搬具	67	(固定負債合計)	(41,400)
工具器具備品	462		
(有形固定資産合計)	(1,159)		
		負債の部合計	184,081
		純 資 産 の 部	
[無形固定資産]		[株主資本]	
電話加入権	356	資本金	480,000
(無形固定資産合計)	(356)	(資本金)	(480,000)
		利益剰余金	14,936
(固定資産合計)	(1,516)	(繰越利益剰余金)	(14,936)
		純資産の部合計	494,936
資産の部合計	679,018	負債及び純資産の部合計	679,018

(注) 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しています。

## 損 益 計 算 書

自 平成 3 0 年 4 月 1 日  
至 平成 3 1 年 3 月 3 1 日

単位：千円

科 目		金 額
経 常 損 益 の 部	営 業 利 益	売 上 高 218,350 売 上 原 価 113,917 販売費及び一般管理費 98,598 ( 営 業 利 益 ) (5,834)
	営 業 外 収 益	受 取 利 息 167 雑 収 入 384 雑 損 失 7 ( 営 業 外 利 益 ) (544)
	経 常 利 益	6,378
特 別 損 益 の 部	貸 倒 引 当 金 戻 入 ( 特 別 利 益 )	6 (6)
	税 引 前 当 期 利 益 法 人 税 等 法 人 税 等 調 整 額 当 期 利 益	6,384 3,479 ▲975 3,880

(注) 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しています。

## 株主資本等変動計算書

自 平成30年4月1日 至 平成31年3月31日

単位: 千円

	株主資本				純資産合計
	資本金	利益剰余金		株主資本 合計	
		その他利益剰余金 繰越利益剰余金	利益剰余金 合計		
前期末残高	480,000	11,056	11,056	491,056	491,056
当期変動額					
当期純損益金		3,880	3,880	3,880	3,880
当期変動額合計		3,880	3,880	3,880	3,880
当期末残高	480,000	14,936	14,936	494,936	494,936

# 個別注記表

自 平成30年4月 1日  
至 平成31年3月31日

## I 重要な会計方針に係る事項に関する注記

### 1) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

最終仕入原価法による原価法

### 2) 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産 法人税法の規定による定額法

### 3) 引当金の計上基準

ア 貸倒引当金 売上債権、貸付金の貸倒損失に備える為、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を検討し、回収不能見込額を計上する。

イ 賞与引当金 従業員に対して支給する賞与の支出に充てるため支給見込額に基づき計上する。

ウ 退職給付引当金 従業員の退職給付に備えて、簡便法により計算された当事業年度における退職給付債務額を計上する。

### 4) リース取引の処理方法

リース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの以外のファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっています。

### 5) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税抜方式によっています。

## II 貸借対照表に関する注記

有形固定資産の減価償却累計額 6,642千円

## III 株主資本等変動計算書に関する注記

当該事業年度の末日における発行済株式の数 9,600株

## IV 税効果会計に関する注記

繰延税金資産の発生の主な原因別の内訳

(繰延税金資産)

貸倒引当金	1千円
未払賞与引当金	827千円
退職給付引当金	17,456千円
未払事業税等	515千円
繰延税金資産計	18,799千円

## V 1株当たり情報に関する注記

1株当たり純資産額 51,555円94銭

1株当たり当期純利益 404円18銭

## 監査報告書

株式会社 秩父開発機構

代表取締役 山口 民 弥 様

私は、平成30年4月1日から平成31年3月31日までの第32期事業年度に係る計算書類及びその附属明細書を監査いたしました。その方法及び結果につき以下のとおり報告いたします。

なお、当会社の監査役は、定款第27条に定めるところにより、監査の範囲が会計に関するものに限定されているため、事業報告を監査する権限を有しておりません。

### 1. 監査の方法及びその内容

私は、取締役等から会計に関する職務の執行状況を聴取し、会計に関する重要な決裁書類等を閲覧いたしました。また、会計帳簿及びこれに関する資料を調査し、当該事業年度に係る計算書類（貸借対照表、損益計算書、株主資本等変動計算書及び個別注記表）及びその附属明細書について検討いたしました。

### 2. 監査の結果

計算書類及びその附属明細書は、会社の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認めます。

令和元年 5 月 20 日

株式会社 秩父開発機構

監査役

上 木 雄 二 

武 島 健 